



ニュース

第47号



2012年2月25日発行
 トップス広島 事務局
 〒733-0036
 広島市西区観音新町4-10-2
 広島西飛行場ターミナルビル1F
 TEL; 082-233-3233 FAX; 082-233-3251
 URL; www.tops-h.net/

このQRコードからトップス広島Webにアクセスできます。

* 加盟団体 *

- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダース
- ・湧永製薬
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・NTT西日本広島ソフトテニスクラブ
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエストレッドスパークスホッケー部
- ・広島東洋カーブ



必勝祈願& 開幕前イベント

2月9日(土)、開幕前恒例行事となる清神社での必勝祈願が行われた。森保監督をはじめ、スタッフや選手ら計約50人が参加。アジアチャンピオンズリーグ制覇とリーグ2連覇を誓った。また、毛利元就に扮した甲冑武者から「サンフレッチェ」の由来となる「三本の矢」の贈呈や佐藤選手と青山選手による絵馬の奉納、豆まき等も行われた。午後からは、広島駅南口地下広場にて開幕前イベントが開催され、1800人ものファンが駆けつけた。司会には吉田安孝さんと真藤十六さんを迎え、大歓声の中、選手が登場。トークショー



やサイン会が行われ、トークショーでの選手たちの面白エピソード等に、会場はいつそう盛り上がりを見せた。



「ひろしまフェニックス賞」受賞!



2月7日に広島市役所本庁舎で行われた「ひろしまフェニックス賞」表彰式で、コカ・コーラウエスト・広島メイプルレッズ・NTT西日本広島ソフトテニスクラブが表彰された。「ひろしまフェニックス賞」は、教育・文化、スポーツの分野において、国際大会や全国大会で優秀な成績を収められた方を対象に、その活躍を顕彰することを目的とし、創設されたものである。表彰の対象になったのは、以下の大会である。今年も、広島を盛り上げてくれるスポーツ選手たちに、私たちからもエールを送りたい。

- コカ・コーラウエスト レッドスパークスホッケー部
 「全日本社会人ホッケー選手権大会」優勝
 「高円宮杯2012ホッケー日本リーグ」優勝
 「第73回全日本女子ホッケー選手権大会」優勝 三冠
- 広島メイプルレッズ
 「高松宮記念杯第2回全日本社会人ハンドボール大会女子」優勝
- NTT西日本広島ソフトテニスクラブ
 「第7回アジアソフトテニス選手権」優勝
 「第30回ソフトテニス日本リーグ」優勝 二冠



節分祭



中国電力 陸上競技部



2月3日(日)、観音神社にて節分祭が行われた。厄除け大祭や和太鼓演奏などが行われた後、トップス広島から、広島メイプルレッズの増田寛那選手、高橋佑奈選手、塩見綾香選手、塩田真奈美選手の年

女4名、サンフレッチェ広島OB、中国電力陸上競技部、カーブOB、が参加し、トークショーを行った。その後の福富くじつき豆まきにも参加し、集まった人たちと共に福を呼んだ。



女子ホッケー日本リーグ・広島日程決定!

| 日時・開始時間 | 対戦相手 | 試合会場 |
|--------------------|------------------------|-------------|
| 4/21(日) 14:30CP | ソニーHC BRAVIA Ladies | 広島広域公園第二球技場 |
| 4/20(土) 15:00CP | 南都銀行 | 広島広域公園第二球技場 |
| 4/19(金) 18:40CP | グラクソ スミスクリン | 広島広域公園第二球技場 |

1/25~2/24 TOPS広島 試合結果

広島ガスバドミントン部

▽ヨネックス杯ひろしまオープン2013

2/3 ■女子ダブルス1部

- 優勝 桜井・奥井 (広島ガス) 3勝0敗
 2位 菊山・井上 (静) (広島ガス) 2勝1敗
 3位 国本・豊田 (文教女子大・新田高校) 1勝2敗
 4位 中村・北條 (TBF) 0勝3敗

メイプル

- 2/2 メイプル 37〇-●18 三重バイオレットアイリス
 2/16 メイプル 34〇-●14HC 名古屋

ワクナガ

- 2/23 ワクナガ 23●-〇31 トヨタ紡織九州

《※広島で行われた試合のみを記載しています。》



ワクナガ、メイプル プレーオフ進出決定！



2月9日に行われた日本ハンドボールリーグでワクナガレオリックはトヨタ自動車東日本に36-21で勝利し、レギュラーシーズン3位以内が確定。大崎電気、トヨタ車体、大同特殊鋼とともに上位4チームによるプレーオフ出場を決めた。試合では、ワクナガレオリックが勢いのある攻守で前半10分8-2と先行。その後、終盤に連続得点をあげ、19-11で前半を折り返す。後半、東日本は高めの3:2:1ディフェンスに変更して流れを変えようとするが、ワクナガは堅守からの速攻で着実に得点を加え主導権をキープ、15点差で見事勝利した。3月9日(土)・10日(日)に東京：駒沢体育館で開催されるプレーオフでは、タイトル奪還をかけて頑張してほしい。

2月24日でレギュラーシーズンが終了した。1月26日(土)に行われたソニーセミコンダクタとの試合で勝利しプレーオフ進出が決定した。3月9日(土)・10日(日)に東京：駒沢体育館で開催されるプレーオフには2年ぶりの進出である。しかし、2年前は震災で中止となったこともあり、広島メイプルレッズにとって6年ぶりのプレーオフ出場となる。首位のオムロンをおさえたこともあり、8年ぶり9度目の優勝に期待する。

(告知) 広島メイプルレッズファン感謝デー!! 参加無料
3月2日(土)10時-13時東区スポーツセンターにて
申込・問合せ：東区スポーツセンター082-222-1860



広ガス1部復帰！！

バドミントンの日本リーグは2月8日、女子2部の広島ガスの1部昇格を発表した。広島ガスは昨年11月の2部リーグで優勝し、2月24日に行われる入れ替え戦で1部昇格をかけて戦う予定だった。しかし1部3位のパナソニックが3月末での休部を決めたことにより、入れ替え戦を行わず順位の繰り上げが行われ、2部リーグ1位の広島ガスが自動昇格で1部復帰を果たした。広島ガスは2年ぶりの1部復帰となり、選手や監督代行を含めチーム全員が喜びに浸った。1部での戦いに向けてさらなるレベルアップも誓った広島ガス。これからの活躍に期待も高まる。



オープン戦に向け、出だし好調！

カーブは2月1日、宮崎・日南でキャンプインした。マエケンにはWBCにむけ1日から早くもブルペン入り、堂林は新しい背番号「7」を背に柵越え3本と、好発進している。また17日に行われた対待ジャパントの試合では、投手陣は完封で繋ぎ、打撃も鈴木将光を中心に好調が続ぎ、7-0と快勝した。対巨人のオープン戦に向けて準備万端だ。キャンプでは他にも7-11日にファンクラブ会員限定の特別見学会も行った。抽選で選ばれたファンが、一般客は入れないグラウンドなどに足を踏み入れ、間近で選手の練習を見学した。今年こそCSに向けて気合十分のカーブを球場に足を運んで応援しよう！



中国山口駅伝優勝！

1月27日、第76回中国山口駅伝がおこなわれた。中国電力からは、1区から順に石川選手、池淵選手、清谷選手、刀裨選手、尾崎選手、田中選手、山崎選手が出場した。今大会で中国電力は2年ぶり二度目の優勝を果たした。MVPを獲得した山崎選手は「自分がとれるとは思っていただけに嬉しいです。前が見える位置で棒をもらい、前を追いかけることに必死でした。」とコメントした。また、影のMVPといわれた清谷選手は「3区という、各チーム、エース格の選手が走るため駅伝全体の流れをつくる大事な区間を任せられ、

| | | |
|----|----------|---------|
| 1位 | 中国電力 | 4:06:44 |
| 2位 | JFE スチール | 4:07:32 |
| 3位 | マツダ | 4:09:07 |

責任を感じました。結果として、チームにいい流れを作ることができ、今後に生かしていきたいです。」と、今後の意気込みを述べた。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆

JTサンダーズ 小澤翔



生年月日 1989年5月5日
身長/体重 178cm/70kg
出身地 静岡県
(今シーズンの抱負)
チームの勝利に貢献できるように頑張ります。
(担当者のコメント)
若さあふれるダイナミックなスパイクに期待。



JTサンダーズ

2012/13V・プレミアリーグも第3Legに突入り後半戦が始まった。4連敗と苦しい状態で挑んだ第3Leg、大分三好ヴァイセアドラーとの第1戦。序盤から主導権を奪いあう戦いで着実に得点を積み重ねていく。しかしリズムをつかみ始めたところで連続失点やサブミスが目立ち、1対3で惜敗。連敗が5となり悔しい結果となった。絶対に負けられないと挑んだFC東京との第2戦。コートに入る前から1つになろうという酒井の提案で全員が目と目を合わせ、声を出してからコートへ向かった。第1セット、第2セットを落としこれまでかと思われた第3セット。気持ち沈むことなく安定したプレーで攻め続けた。最後はイゴール選手のスパイクがきまり、第3セットを奪取。続く第4セットも勢いは止まることなく25点目を奪った。そして迎えた最終セット。中盤まではリードを見せたものの、粘り強い相手の反撃により終盤で連続5失点。9対10と逆転されてしまう。ここでも選手たちは決してあきらめずプレーに集中し、持てる力を出し切った。お互いに声を掛け合い、全身で喜び合った。その姿勢が連続5得点につながり、最後は八子がブロックアウトを取って、15対10で激戦に決着。苦悩の連敗を5でストップさせることができた。勢いが止まることなく続く堺プレーズ戦でも3対1で勝利。2連勝と好調で迎えた豊田合成トレフェサ戦では第2セットまで優位に試合を進めた。しかし第3セットでリズムを崩すと第4セットも奪われる。リズムを取り戻すことができず8対15でゲームセット。惜しくも連勝を伸ばすことはできなかった。しかしチーム一丸となって5連敗をストップさせたことは選手・ファン共に嬉しい限りだろう。第4Legの選手の活躍に期待したい。



ロゴマークの意味 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。